評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| がっこう たんけんに  いこう | 【関心・意欲・態度】  学校内の施設や人々に関心をもっていろいろな場所へ行き，興味深く見たり，人と話したりしている。（態度・行動・発言） | ・行きたい場所を決められない子どもがいたら，まずは歩き始めるように促し(できれば教師も一緒に)，興味をもった場所に入ってみるように声をかける。  ・「お気に入り」がなかなか決められない子どもについては，日ごろから小さな判断・決定を繰り返しさせる機会を与え，自分で決められたことをほめる。 |  | ・「図書室にもう一回行きました。どんな本があるのかちゃんと見たかったからです。図書室にお母さんみたいな人がいて話しかけたらボランティアって言っていました。図書室の飾りを作っていました。」など，ねらいをもってお気に入りの場所に行き，進んで部屋のものを見たり，人に話しかけたりしている。 |
| 【思考・表現】  学校内の場所ごとのルールを守って行動したり，礼儀正しく話したりしながら，部屋にある物やいる人，部屋の目的などを調べている。（行動・発言） | ・遊んでしまったり，おしゃべりしながら移動したりする子どもには，その場でしばらくほかの子どもたちや上級生の姿を観察させ，その場所の使い方とともにふるまい方に気付かせるようにする。  ・継続的にその場に応じたマナーがあることを伝え，できている子どもをとりあげてほめる。 |  | ・「校長室にあるサッカーボールのことを質問したら，この学校の卒業生がプロになって贈ってくれたものだって教えてくれました。○○小学校ってすごいなあ，と思いました。」など，自分から具体的な質問を行い，その部屋や小学校への愛着を深めている。 |
| 【気付き】  学校のなかの場所や人，部屋にあるものや部屋の目的，場所ごとのマナーに気付いている。（カード・行動・発言） | ・部屋の目的や，その場所で行われている仕事の意味に気付けない子どもには教師と一緒にその場所に応じた活動をし，実感させるようにする。  ・教室に学校の平面図を掲示し，子どもたちのカードや探検の写真を重ねてはっていき，一緒に見る習慣を付ける。 |  | ・「１階には保健室や職員室などのみんなのための部屋があつまっていたよ。使いやすいようにするためかな。」など，「部屋の目的」と「立地，先生の仕事，そこにあるもの」など気付きをつなげて新たな発見を話している。 |
| こうていも  たんけんして みよう | 【関心・意欲・態度】  校庭の動植物や遊具・施設に関心をもっていろいろな場所へ行き，興味深く動植物と接したり，遊んだりしている。（態度・行動・発言） | ・行きたい場所や校庭でやりたいことを決められない子どもがいたら，まずは歩き始めるように促し，興味をもった場所に行ってみるように声をかける。  ・「お気に入り」がなかなか決められない子どもについては，日ごろから小さな判断・決定を繰り返しさせる機会を与え，自分で決められたことをほめる。 |  | ・「校庭を全部回ったよ。うさぎ小屋や花壇，鉄棒があったよ。初めてみる遊具があったから友達にやり方を聞いて一緒に遊んだら楽しかったよ。」など，多くの選択肢から自分でお気に入りをみつけ，進んでその場でできる活動に取り組んでいる。 |
| 【思考・表現】  動植物に優しく接したり，ルールを守って遊具や施設を使用したりしている。（行動・発言） | ・動植物を手荒く扱ったり，順番を守れなかったりする子どもには，その場でしばらくほかの子どもたちの姿を観察させ，その場所の使い方とともにふるまい方に気付かせるようにする。  ・継続的にその場に応じたマナーがあることを伝え，できている子どもをとりあげてほめる。 |  | ・「うさぎ小屋が好きです。そばを通ってちらっと見たら可愛かったからです。優しくしてねと書いてあったのでしずかに見ました。」など，お気に入りの理由を明確にし，その場のルールを自分で考えて行動することができている。 |
| 【気付き】  校庭にあるものやその場所，動植物とのかかわり方やものの使い方に気付いている。（カード・行動・発言） | ・校庭にも場所ごとに目的をもったものがあることに気付けない子どもにはそれぞれの場所に応じた活動をさせて体験的に実感させるようにする。  ・教室掲示の学校平面図の校庭部分にも場所や子どもの写真，カードをはり，折に触れて話題にのせるようにする。 |  | ・「校庭では技術員さん(用務員さん)がお掃除していたよ。だからいつも校庭がきれいだとわかりました。」など，「場所の目的やその場所の様子」と「立地，先生の仕事，そこにあるもの」など気付きをつなげて新たな発見を話している。 |

評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| たんけんした ことを  みんなで はなそう | 【関心・意欲・態度】  見つけたもの・こと・人のことを先生や友達に意欲的に話したり，友達の話を聞こうとしたりしている。（態度・行動・発言） | ・探検のことを話せない子どもには，その子のカードをもって教師が代わりに話すことから始め，だんだんと一緒に，そして一人で話せるようにする。  ・発達段階に応じた話ができるように国語科の話し方・聞き方のカリキュラムと連動させて指導する。 |  | ・笑顔ではきはきと楽しかったことを話したり，友達の発表に頷いたり，積極的に質問したりしながら参加している。 |
| 【思考・表現】  見つけたもの・こと・人のことをわかりやすく伝えるために言葉や動作で発表している。（態度・行動・発言） | ・楽しかったで終わってしまう子，探検以外のことを話そうとする子には，カードや掲示物を参照させ，教師が質問しながら話をさせるようにする。  ・発達段階に応じた話ができるように国語科の話し方・聞き方のカリキュラムと連動させて指導する。 |  | ・カードや教室掲示の地図，写真などを適宜参照しながら，その場所の目的や様子だけでなく，そこにいる人やでき事，あるものなどとつなげて話すことができている。 |
| 【気付き】  学校のなかの場所や人，部屋にあるものや部屋の目的，校庭にあるものや自然，場所ごとのマナーについて気付くとともに，安心して学校生活を送ることができるようになった自分に気付いている。（行動・発言・カード） | ・学校生活のよさに気付けない子どもには，学校に来てうれしかったことや助かったことなどを想起させるようにする。  ・継続的に子どもの成長を認め，その際に学校生活をしっかり送ることができていることをつなげて話すようにする。 |  | ・「６年生の部屋に行ったら机が大きかった。ぼくもいつかあんな机を使うぐらいに大きくなるのかな，と思ってうれしくなりました。」「図書室には本がいっぱいありました。わからないことができても大丈夫だと思いました。」など，これからの学校生活に楽しみや安心をもつことができ，それを話している。 |
| がっこうの まわりを  あるいて みよう | 【関心・意欲・態度】  通学路の自然や人，安全を守る施設などに関心をもってさがしながら，みんなで歩いたり，自分の地域を見直したりしている。（態度・行動・発言） | ・自分の地域でお気に入りの場所を見つけられない子どもには，同じ地域の子どもと話をさせたり，保護者からも話を聞いたりする機会を設定する。  ・「お気に入り」がなかなか決められない子どもには，日ごろから小さな判断・決定を繰り返しさせる機会を与え，自分で決められたことをほめる。 |  | ・「通学路のわきに花壇がありました。きれいだなあ，と初めて思いました。誰が水をあげているのか知りたくなりました。」など，改めて気付いたことから地域や地域の人々への興味をもつことができている。 |
| 【思考・表現】  みんなで歩いて発見したことや，自分の地域のお気に入りの自然や人などについて，わかりやすく伝えるために言葉や動作で発表している。（態度・行動・発言・カード） | ・通学路のお気に入りとは関係のないことを話す子には，カードや掲示物，地域の写真などを参照させ，教師が質問しながら話をさせるようにする。  ・発達段階に応じた話ができるように国語科の話し方・聞き方のカリキュラムと連動させて指導する。 |  | ・カードや写真などを適宜参照しながら，その場所の様子だけでなく，そこにいる人やでき事，あるもの，お気に入りの理由などとつなげて話すことができている。 |
| 【気付き】  通学路にある自然や人々，安全を守るための施設などに気付くとともに，地域でも安心して生活している自分に気付いている。（行動・発言・カード） | ・通学路を含めた地域のよさに気付けない子どもには，登下校や放課後などでうれしかったことや助かったことなどを想起させるようにする。  ・継続的に子どもの成長を認め，その際にその成長は地域の方々も見守っていることをつなげて話すようにする。 |  | ・「朝，隣のおばあさんに挨拶してもらうことがうれしいです。ぼくも地域の方に挨拶するようにしました。」「田んぼの稲が毎日どんどん伸びています。毎日通るのが楽しみです。」など，地域の人々や通学路への愛着を深めている。 |